



浜松市博物館テーマ展「近代の学校の姿」の開催

「学制」が發布され、近代学校制度が始まり、浜松で初めての学校が創立されたのは明治6年(1873)です。それから約150年を経て、学校の姿も変化しています。

学校と地域との関わりや教育のあり方、校舎などの建物の様子等を紹介しながら現代の学校へとつながる近代の学校の様子について、初等教育に焦点をあてて紹介します。

本展ではこれまでの博物館が収集してきた資料のなかから、学校制度にまつわる資料や学用品、教科書等を展示します。また、天竜区の浦川小学校から榎本武揚揮毫の「浦川学校」の扁額もお借りして展示します。

記

1 展示要項

- 期間 令和6年11月2日(土)～令和7年1月13日(月・祝)
- 休館日 月曜日(祝日の場合その翌日)・年末年始(12月29日～1月3日)・11月27日
- 観覧料 大人310円、高校生150円
中学生以下・70歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方とその介添え者1名までは無料

2 関連企画

- ・はまはく講座「近代の小学校での学び」

日時 12月14日(土) 10:00～11:30

会場 浜松市博物館

要申込

- ・ギャラリートーク

日時 11月2日(土)・1月8日(水) ともに午前10時～午前10時30分

- ・ワークショップ 昔の学校を体験してみよう

日時 11月16日(土) 午前9時30分～11時30分

- ・冬休み体験館 昔のおもちゃで遊ぼう

日時 12月26日(木)～28日(土) 午前9時15分～午後3時30分



浦川学校の扁額

浦川村で治水事業を推進した矢高濤一が金原明善の仲介で、榎本武揚に揮毫を依頼した。

